

# タンク建設進捗状況

2016年10月27日

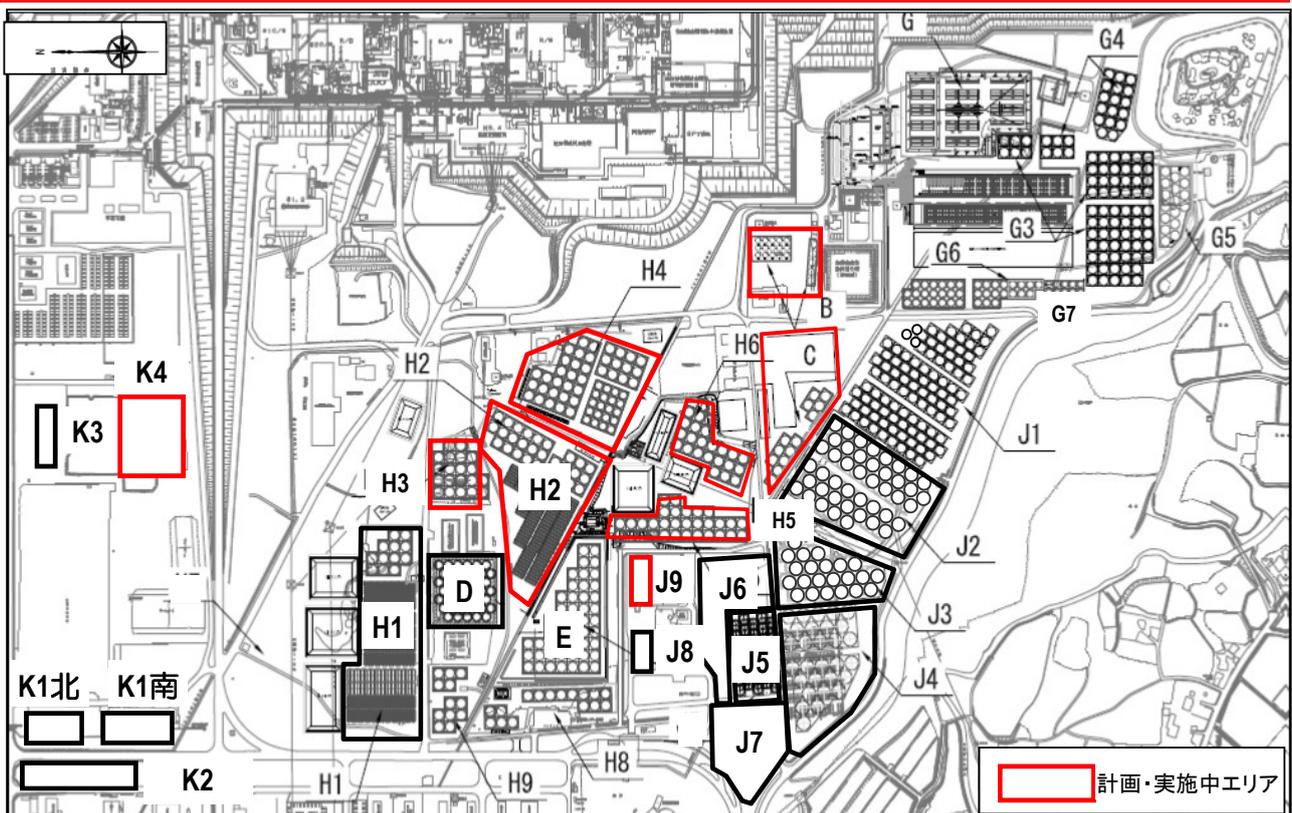


## 東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

0

### 1. タンクエリア図



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1

## 2-1. タンク工程 (新設分)

		2016年度												2017年度										16.10の見込 /計画基数
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降				
新設タンク	J9エリア 現地増設型	9月16日進捗見込	地盤改良・基礎設置		タンク			0.7	2.1	2.1	2.1	1.4												
		10月26日進捗見込						1	3	3	3	2												
	9月16日進捗見込						0.7	2.1	2.1	2.1	1.4													
	10月26日進捗見込						1	3	3	3	2											1基/12基		
K4 完成型	9月16日進捗見込	地盤改良・基礎設置		タンク			9.0	6.0	12.0			6.0												
							9	8	12			6												
	10月26日進捗見込						9.0	6.0	10.0			2.0	6.0											
	10月26日進捗見込						9	8	10			2	6											17基/35基

## 2-2. タンク工程 (リプレース分)

		2016年度												2017年度										16.10の見込 /計画基数						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降										
リプレースタンク	H2ブルータンクエリア 現地増設型	9月16日進捗見込(概略)	地盤改良・基礎設置		残水・撤去			4.8	4.8	12.0	7.2	14.4	14.4	12.0	13基 計画未定															
		10月26日進捗見込(概略)						2.4	7.2	7.2	9.6	14.4	14.4	9.6	9.6	7.2	7.2	4.8	4.8	4.8										
	9月16日進捗見込						1	3	3	4	6	6	4	4	3	3	2	2	2											1基/44基
	10月26日進捗見込																													
H2フランジタンクエリア 現地増設型	9月16日進捗見込(概略)	地盤改良・基礎設置		フランジタンクエリアのタンク開発量は、 上記ブルータンクエリアに計上																										
	10月26日進捗見込																													
	10月26日進捗見込																													
H4エリア 完成型	9月16日進捗見込(概略)	地盤改良・基礎設置		残水・撤去			12.0			12.0	12.0																			
							10			10	10																			
	10月26日進捗見込(概略)						12.0			12.0	12.0																			
	10月26日進捗見込						10			10	10																			
Gエリア 完成型	9月16日進捗見込(概略)	地盤改良・基礎設置		残水・撤去			12.0	6.0	12.0																					
							10	5	10																					
	10月26日進捗見込(概略)						28.8																							
	10月26日進捗見込						24																							
Bフランジタンクエリア 完成型	9月16日進捗見込(概略)	地盤改良・基礎設置		残水・撤去																										
	10月26日進捗見込(概略)																													
	10月26日進捗見込																													
H3フランジタンクエリア 現地増設型	9月16日進捗見込(概略)	地盤改良・基礎設置		残水・撤去			9.6																							
							8																							
	10月26日進捗見込(概略)						38.4																							
	10月26日進捗見込						32																							

他のエリアについても順次リプレース予定

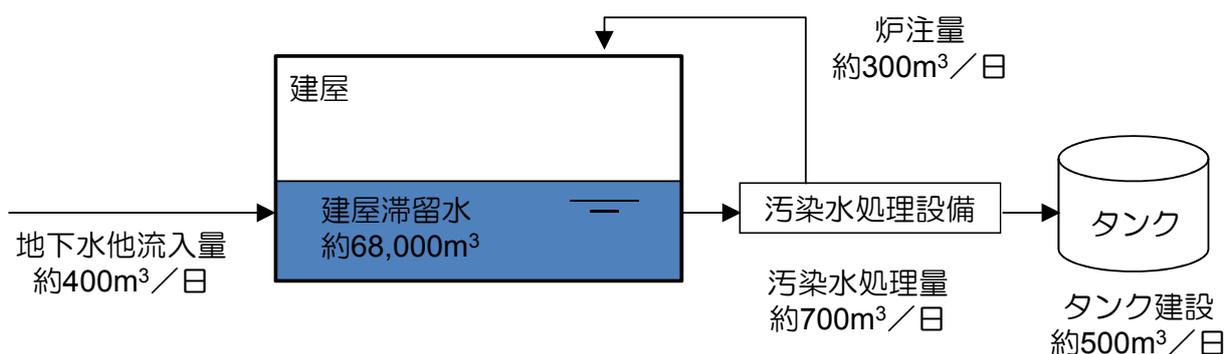
## 2-3. タンク建設進捗状況

エリア	全体状況
J9	旧技術訓練棟を撤去後、700m <sup>3</sup> の現地溶接型タンク、12基を設置する予定。地盤改良と基礎構築は完了。現在、タンク設置中。
K4	多核種除去装置エリアにおいて1,000m <sup>3</sup> 、35基の工場完成型タンクを設置する計画。現在は地盤改良・基礎構築、タンク設置中。12月以降設置計画分のうち10基を10月から設置前倒し、残り8基の前倒し検討中。 2016/11/1,2 使用前検査予定（5基）
H2	2015/5/27フランジタンク解体着手。2015/10/1ブルータンク撤去認可。2016/3/11フランジタンク全28基撤去完了。現在、地盤改良・基礎構築、タンク設置中。 2016/9/1にタンク建設工事中に火災が発生。再発防止対策のため一時作業中断。2016/9/7に作業再開 9月末現在、降雨により基礎コンクリート打設が遅延（2週間程度）。タンク建設への影響を精査中。 また、台風・降雨により溶接作業が遅延（3週間程度）、基礎影響を含めた計画の見直しを検討中。 1基目の作業工程実績を精査し、今後の改善方策を検討中。 2016/11/1,2 使用前検査予定（1基）
H4	2015/12/14フランジタンク解体認可。現在、フランジタンク撤去中。
B	実施計画の認可を踏まえて、フランジタンクの解体着手予定。
C	実施計画変更認可を踏まえて、フランジタンクの解体着手予定。
H3	実施計画の認可を踏まえて、フランジタンクの解体着手予定。
H5, H6	実施計画の認可を踏まえて、フランジタンクの解体着手予定。

## 2-4. 実施計画申請関係

エリア	申請状況
J9	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016/4/20 実施計画変更申請（K4, H2エリアタンクと同時申請）</li> <li>2016/7/4 実施計画補正申請</li> <li>2016/7/4 実施計画変更認可</li> </ul>
K4	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016/4/20 実施計画変更申請（J9, H2エリアタンクと同時申請）</li> <li>2016/7/4 実施計画補正申請</li> <li>2016/7/4 実施計画変更認可</li> </ul>
H2	リプレースタンク44基分 <ul style="list-style-type: none"> <li>2016/4/20 実施計画変更申請（J9, K4エリアタンクと同時申請）</li> <li>2016/7/4 実施計画補正申請</li> <li>2016/7/4 実施計画変更認可</li> </ul>
H4	リプレースタンク分 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画変更申請準備中</li> </ul>
B	タンク解体分 <ul style="list-style-type: none"> <li>2016/9/15 実施計画変更申請（H5, H6, H3エリアタンクと同時申請）</li> </ul>
C	リプレースタンク分 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画変更申請準備中</li> </ul>
H3	タンク解体分 <ul style="list-style-type: none"> <li>2016/9/15 実施計画変更申請（B, H5, H6エリアタンクと同時申請）</li> </ul>
H5, H6	タンク解体分 <ul style="list-style-type: none"> <li>2016/9/15 実施計画変更申請（B, H3エリアタンクと同時申請）</li> </ul>

- 建屋滞留水処理には、日々の地下水他流入量に加え、建屋滞留水量を受け入れるタンク容量の確保が必要
    - 地下水他流入量：約400m<sup>3</sup>/日（2016.3～2016.7の平均値）
    - 建屋滞留水量：約68,000m<sup>3</sup>（2016.8時点）
  - 処理期間には、タンク建設スピード、汚染水処理量や地下水他流入量が影響
  - タンク建設や処理設備増設は、早期対応が困難。地下水他流入量の抑制は、処理量の増加と同等の効果があり、タンク必要容量の抑制も可能
  - タンクのリプレースを含めた運用目標として、過去の実績を等を基に約500m<sup>3</sup>/日として設定
- H28.11～H29.9までの建設予定数は、約520m<sup>3</sup>/日



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

6

### 3-2. タンク建設計画の考え方・進め方

- タンク建設は、新規エリアへの設置とフランジタンクのリプレースにより計画している。
- 特に、信頼性の低いフランジタンクは、可能な限り早期に溶接タンクにリプレースし、リスクを下げる必要があること、また、タンクの大型化等の効率化による容量増加も見込めることから、優先して実施していく。

#### リプレース以外のタンク増容量についての検討

- 敷地南側にはタンクを約99万m<sup>3</sup>設置しており、空きエリアは少ない。新たにタンクエリアを確保するためには、資機材移動等が必要であり、タンク建設には約2年以上を要する。このため、早期リスク低減効果は期待できない。
- 敷地北側の利用予定が無いエリアについては、大規模な土木工事を伴い、タンク設置まで約3年を要するため、早期リスク低減効果は期待できない。
- その他、例えば、既存のフランジタンク再利用等を行えば、タンク容量の早期増加が期待できるが、増容量できないことや、耐震性の向上ができなくなる等の問題もあるため、慎重に検討していく。

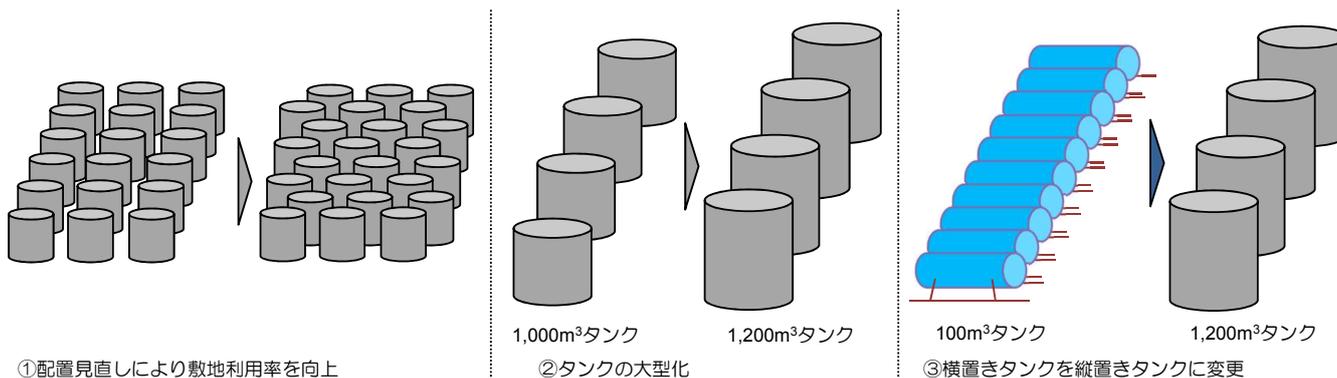
・リプレースの効率化によるタンク容量の増加

リプレースの効率化

- ① タンク配置見直しにより敷地利用率を向上し、容量増加
- ② タンクの大型化により、容量増加
- ③ 横置きタンクを縦置きタンクに変更し、容量増加

	現在の容量 (m <sup>3</sup> )	当初計画案 (m <sup>3</sup> )	改善実施後 (m <sup>3</sup> )
リプレース (H2, H4エリア)	86,000	142,000	185,000
リプレース (その他エリア)	213,000	230,000	338,000

+151,000m<sup>3</sup>

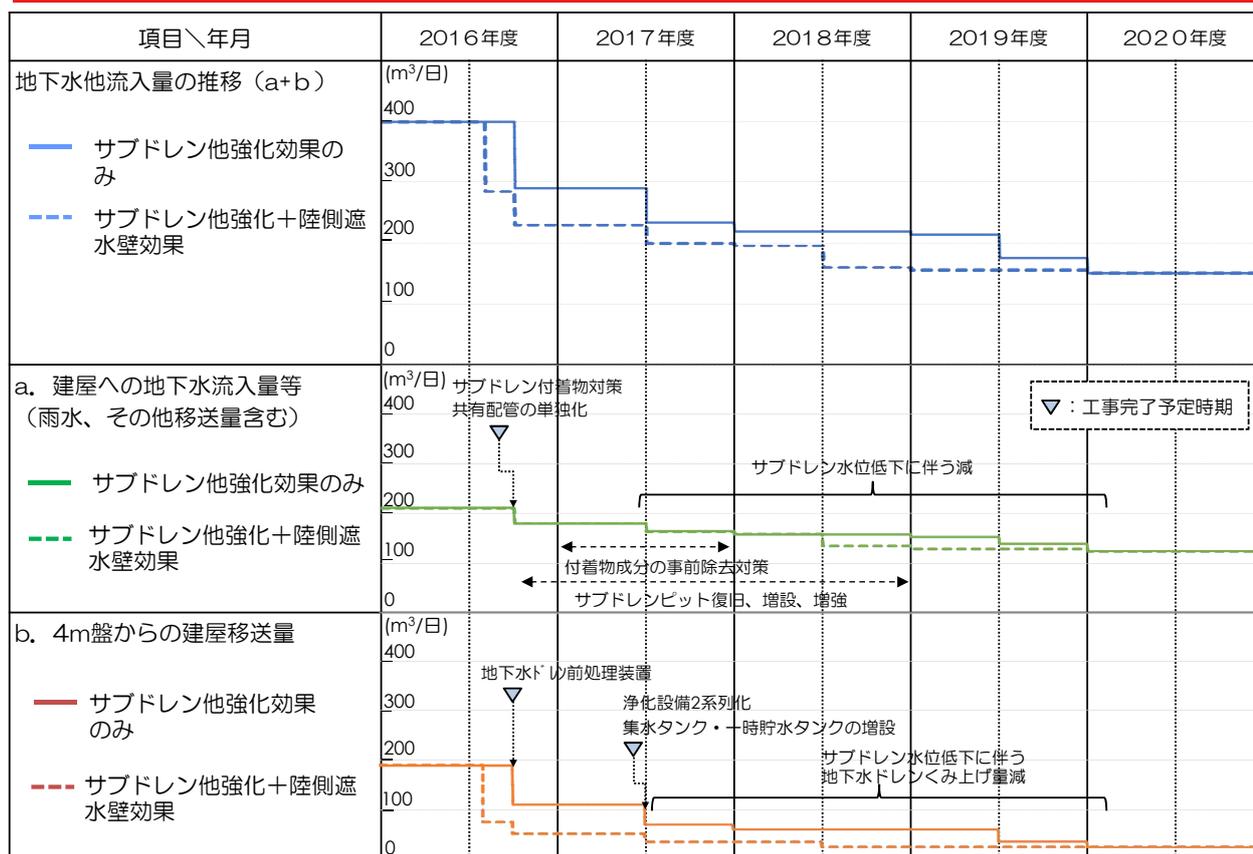


①配置見直しにより敷地利用率を向上

②タンクの大型化

③横置きタンクを縦置きタンクに変更

4-1. リプレースの効率化によるタンク容量の増加



### 4-3. 水バランスシミュレーション (サブドレン他強化+陸側遮水壁の効果)

